

平成30年度事業報告に関する件

特定非営利活動法人子ども環境活動支援協会が平成30年度に実施した事業結果を以下のとおり報告いたします。

1. 事業実績

(1) 概要

協会発足20周年となった2018年度は、2017年度からの中長期展望に関する議論を理事、元理事、職員、外部有識者を交えて継続実施し、その集大成として当協会20周年記念フォーラムを大阪ガス㈱エネルギー・文化研究所(CEL)との共催事業として実施しました。

記念フォーラムでは、「新たな共通価値創造の時代に求められる「生きる力」を育むために」をテーマに20年間の取り組みを振り返ると共に次の時代に求められるLEAFの役割などについて、西宮市長、米国バーモント州シェルバーンファーム副代表、CEL 所長、LEAF 副代表などから多面的な観点から提言やご意見をいただくことができました。

また、個々の事業実施にあたっては、「持続可能な社会の担い手となる次世代の育成事業の体系化」を意識し、2019年度以降の西宮市立甲山自然環境センター指定管理業務にも、こうした考え方を提案し採択されました。

このことは、当協会の定款第3条(目的)「(前略)市民・事業者・行政のパートナーシップのもと、持続可能な開発のための教育や環境教育・環境学習、自然体験などの諸活動を通じて、次世代育成やまちづくりに関する諸事業を行うことを目的とする」の実現に向けた当協会20周年以降の活動基盤を確立することにもつながりました。

中期展望の視点として、以下の点を理事会において確認され、2019年度以降の事業に反映することとしました。

- (1)西宮市の自然特性を生かした「体験的学び」を学校園などを対象に幅広く展開します
- (2)都市型里地里山を軸とした地域循環型活動モデルを創出します
- (3)各主体とともに社会課題解決や新たな価値創造に向けた取り組みを進めます
- (4)環境学習都市・西宮における各種実践を通じた国際協力を進めます
- (5)事業実施において様々な主体や団体、世代をつなぐ役割を重視します

(2) 特定非営利事業に関する事業報告

事業内容については、別添の「2018年度LEAF事業報告書」(本書以外の事業報告附属書類はありません)にて報告いたします。

2. 組織体制・財政の確立に関する基本方針

組織体制や財政に関しては、協会 20 周年に向けて理事や職員の世代交代を進め、持続可能な組織づくりに努めました。年間事業費実績も目標とした 1 億円規模を堅持することができました。

(1) 組織体制について

1) 理事・職員・元理事などによる将来展望の協議

理事が職員と一体となって事業推進が図れるよう合宿を行い、これまでの取り組みに関する共通認識や課題抽出に取り組みました。また、専務理事の配置について協議しました。

2) 協会発足 20 周年記念事業について

2019 年 2 月 22 日に、当協会理事で米国バーモント州シェルバーンファーム副代表のメーガン・キャンプ氏に基調講演を行ってもらい、石井登志郎西宮市長、池永寛明大阪ガス㈱エネルギー・文化研究所長をお招きし、「新たな共通価値創造の時代に求められる「生きる力」を育むために」をテーマに今後の当協会事業を展望する内容でのシンポジウムなどの催しを実施しました。記念事業には、市民、事業者、行政など各セクターから 100 名を超える参加を頂くとともに、高月紘氏、小澤紀美子氏といった歴代会長（代表理事）にもご参加いただくことができました。

3) 就業規則改訂など協会職員の労働条件の改善

社会保険労務士の協力を得、従前の就業規則を見直し、最新の労働基準法に準拠した内容となるよう、「一般職員就業規則」「契約職員等就業規則（契約職員・アルバイト職員用）」「育児休業・介護休業等規程」「出張旅費規程」を定めました。

4) 事務局体制の強化に向けた取り組み

① 事務局運営体制の確立

<事務局職員の構成>

・一般職員（継続雇用）……6 名（20 歳台 1 名、40 歳台 4 名、50 歳台 1 名）

・契約職員（単年契約）……4 名（20 歳代 1 名、30 歳代 1 名、60 歳台 2 名）

* JICA 草の根事業によりソロモン諸島で雇用した職員 2 名を含む

・臨時職員（短時間契約）…29 名（平均：55 歳）

② 職員の各種スキル向上に向けた研修の実施

甲山自然の家の勤務職員を対象に西宮市消防局を招いての消防訓練を実施、施設の安全管理に向けた研修を実施しました。また、新年度からの雇用予定者を対象に防火管理者研修、チェーンソー研修などに参加させました。

(2) 財政基盤の確立について

1) 基本財源の確保及び財務管理体制の強化

財務状況と予算執行の日常的な管理ができるよう財務管理体制を強化し、黒字決算とすることができました。

3. 会員の現況（2019 年 3 月 31 日現在）

■正会員（個人会員：120 名、団体会員：54 団体）

以 上